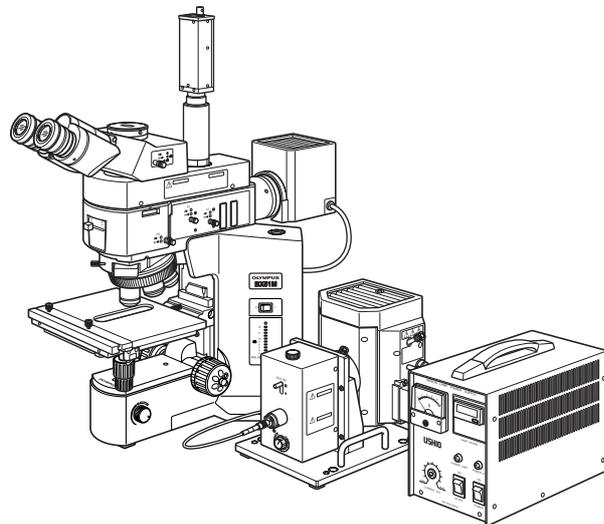


OLYMPUS[®]



取扱説明書

U-UVF248

248nm紫外線顕微鏡ユニット

お願い

このたびは、オリンパス248nm紫外線顕微鏡ユニットをご採用いただき、ありがとうございます。

本ユニットの性能を十分に発揮させるためおよび安全確保のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

ユニット使用时には、常にお手元に置いていただき、お読みになったあとも大切に保管してください。

—— この印刷物は古紙配合率 100% の再生紙を使用しています ——



A X 7 6 4 4

目次

	頁
はじめに — 安全にご使用いただくために、必ず読んでください —	1~4
1 構成モジュールの名称	5
2 各操作部の名称	6,7
3 観察前の準備	8,9
1 水銀キセノンランプの心出し.....	8
2 照明心調整	9
4 可視光／紫外線観察手順	10
5 仕様	11
6 紫外線観察の問題点とその処置	12
7 組立て方	13~16

はじめに

本ユニットを顕微鏡BXシリーズまたはMXシリーズにアドオンすることで、248nm紫外線による高解像力観察および可視光観察が行えます。

ただし、248nm紫外線は眼や皮膚に有害ですので、下記記載の「紫外線(UV光)に関するご注意」項を必ずお守りください。

紫外線(UV光)に関するご注意

- 1) 各ユニットの着脱時およびメンテナンス時は、必ず光源ランプを消灯するかUV248光源ボックスのシャッタレバーを●印側へスライドさせて閉じ、眼や皮膚に紫外線が照射されないようにしてください。
- 2) レボルパの対物レンズの取付いていない穴には、レボルパ付属のキャップを取付け、不用意に紫外線が照射されるのを防止してください。
- 3) プレスシールドが取付くモジュールの場合は、プレスシールドを取付けることで安全性が高まります。
- 4) UVライトガイドは折れを防止するため、曲げ半径100mm以下にしないでください。また、紫外線漏れとなる亀裂が表面にないか定期的な点検を行ってください。

紫外線に関する注意ラベル

注意ラベルが汚れたり、はがれたりした場合の交換およびお問い合わせは、オリンパスの販売店へご連絡ください。

・UV248鏡筒右側面

 CAUTION <ul style="list-style-type: none">• Do not expose your skin and eyes to the UV (ultraviolet) rays without proper protections.• The power supply to the lamphousing must be turned off before installation or removal, or any maintenance.	注意 <ul style="list-style-type: none">・紫外線を肉眼や皮膚に直接あてないでください。・ユニット着脱時やメンテナンス時は必ずランプの電源を切ってください。
---	--

・UV248光源ボックス右側面

 CAUTION <ul style="list-style-type: none">• Do not expose your skin and eyes to the UV (ultraviolet) rays without proper protections.• The power supply to the lamphousing must be turned off before installation or removal, or any maintenance.	注意 <ul style="list-style-type: none">・紫外線を肉眼や皮膚に直接あてないでください。・ユニット着脱時やメンテナンス時は必ずランプの電源を切ってください。
---	--

⚠ 安全に関するお願い

- 1) 本ユニットは精密機器ですので衝撃を与えないよう、丁寧に取扱ってください。
- 2) 水銀キセノンランプは、オリンパス供給のUXM80E(ウシオ電機製)をご使用ください。
- 3) ランプが取付けてあること、およびコード類が確実に接続されていることを確認してください。
- 4) 点灯中および消灯後10分以内は内部が非常に熱くなっているため危険なのでランプハウスを開けないでください。
- 5) 電源装置のライフメータが1000時間を表示しましたら、安全のためにメインスイッチを●(OFF)にして、10分以上経過してからランプを交換してください。水銀キセノンランプは蛍光灯などと違い、管内に高圧のガスを封入しているため寿命を著しく越えた状態で使用を続けると、ガラス管に歪みが蓄積して稀に破裂することがあります。
- 6) 電源装置内部に高電圧部がありますので分解をしないでください。
- 7) 電源コードは、当社付属のものを必ずご使用ください。
電源コードプラグを電源コンセントに差し込む場合、電源装置のメインスイッチが●(OFF)になっていることを確認してください。
- 8) 安全のため電源装置のアースを必ず接続してください。当社の意図する電気安全性能が確保できません。
- 9) ランプの交換などでランプハウスを開ける場合はメインスイッチを●(OFF)にし、電源装置のランプハウスへの出力コネクタを外し、10分間以上待ってランプが冷えてから行ってください。
- 10) ランプハウス上面は非常に熱くなりますので、ここをふさぐと火災の原因となります。
また上面以外の周辺も10cm以上の空間を確保してください。
- 11) 各接続ケーブルがランプハウス周辺に触れるとコードが溶け感電のおそれがあります。各接続ケーブルの設置に際しては、ランプハウス部から充分離してください。
- 12) 各機能に備えられているストッパは無理な力を加えると破損することがありますのでご注意ください。
- 13) 電源コードは万一の場合に電源供給を止めるためにも使用します。
電源コードコネクタ(電源装置背面)または、電源コンセントは、万一の場合に手が届いてすぐ取外せる位置に電源装置を設置してください。
- 14) 通気口に金属片などを入れると感電や故障の原因となりますので絶対に行わないでください。
- 15) 転倒防止のため、顕微鏡の全高さが1m以上になる付属品の組み合わせは行わないでください。

安全に関するシンボルマーク

本ユニットには、下記のシンボルマークが付いています。
マークの意味をご理解いただき、安全な取扱いを行ってください。

マ ー ク	意 味
	高電圧(1KV以上)が、かかっていますので感電に注意してください。
	表面が熱くなっていますので手を触れないでください。 やけどをする危険があります。
	使用する前に必ず取扱説明書をお読みください。 誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、商品の破損の原因となります。
	メインスイッチがON状態です。
	メインスイッチがOFF状態です。

注意表示について

特に使用上・操作上の注意を要する部位には、注意表示がされています。必ず指示事項をお守りください。

注意表示位置	・水銀キセノンランプハウス (U-LH80HGXE)	[高温注意]	
	・電源装置	[高電圧注意]	

1 システムの適合性について

◎ここに記載モジュールは、代表的な例です。記載のないものでも使用可能なモジュールもありますので、オリンプスの販売店へご確認ください。

1) 鏡体

- ・BX51/61
- ・MX51/61

2) 落射投光管

- ・BX-RLA2
- ・BX-RLAA (UV対応版)
- ・BX-URA2 (空ミラーユニットまたはDFミラーユニットU-MDF-3を使用が条件)

3) 対物レンズ

- ・紫外線観察：248nm用MApo 100×対物レンズのみ
(NA:0.9 WD:0.2mm 実視野50μm)
- ・可視光観察：MPLN、LMPLFLN、UMPlanFl 等のUIS2 (UIS) シリーズ

4) 紫外線観察用TVカメラ

- ・適合CCDサイズは2/3インチ以下となります。
- ・推奨テレビカメラ：SONY製XCD-SX910UV (1/2インチCCD)

5) AFユニットを使用する場合

- ・AFユニットはUV対応版が必要です。
(UV適合AFユニットの型式名は販売店へお問い合わせください。)
- ・可視光観察の視野数は16となります。

6) UV248鏡筒に付属のスペーサ10は、組合わせるAFユニットや鏡体に段差がある場合に使用します。

2 ご使用にあたって

- 1) 本説明書は紫外線顕微鏡ユニットの取扱い方を説明したものですので、BX2/MX顕微鏡や関連オプションの取扱説明書も併せてお読みいただき、総合的な使用方法をご理解ください。
- 2) 使用環境温度は紫外線用対物レンズ使用時には18~28℃でご使用ください。この温度範囲外での使用では、紫外線用対物レンズの性能が十分に発揮できない場合があります。
- 3) 紫外線観察時には専用対物レンズを光路に入れ、落射投光管の光路はDFポジションにしてください。可視光観察用対物レンズに紫外線が照射されると、対物レンズ性能が劣化します。
- 4) 紫外線観察は高倍／高解像となるため、振動の影響を受け易いので除振台の使用を推奨いたします。
- 5) 248nm紫外線はレジストを損傷させますので、その観察時間はなるべく短くするようにしてください。
- 6) 紫外線照射初期に、UVライトガイド中心部に微小黒点が発生することがありますが、これはそのまま照射していると自然消失します。
- 7) UVライトガイドの特性上、ライトガイドが小さく丸めてまとめられていたり、観察中に動かされると、観察像にチラツキやムラが発生する場合があります。
- 8) 使用しないときは必ずメインスイッチを●(OFF)にして、ランプハウスが充分冷えたことを確認してから、ほこり避けのカバーをかけて保管してください。
- 9) 本装置廃棄の際は、地方自治体の条例または規則を確認されて、それに従ってください。
ご不明な点は、ご購入先のオリンパスの販売店へお問い合わせください。ただし、使用後の水銀キセノンランプの廃棄については、産業廃棄物としての処理が必要です。自己処理ができない場合は、オリンパスの販売店へお渡しください。

3 手入れ、保存について

- 1) レンズ類の清掃は、ほこりを市販のプロアなどで吹き飛ばし、クリーニングペーパー(または洗いざらしの清潔なガーゼ)で軽く拭く程度にしてください。
指紋や油脂類の汚れのみ市販の無水アルコールをクリーニングペーパーにわずかに含ませて拭き取ってください。
▲無水アルコールは引火性が強いので、使用中は火気に近づけないようにし、各種電気機器のメインスイッチのON-OFF操作も行わないでください。
また、部屋の換気にもご注意ください。
- 2) レンズ以外の各部の清掃は清潔な布で拭き取ってください。
汚れがひどい場合は有機溶剤は避け、希釈した中性洗剤を柔らかな布にわずかに含ませて拭いてください。
- 3) 各部を分解することは性能劣化および紫外線漏洩の原因となりますので絶対に避けてください。

4 注意

この顕微鏡を取扱説明書に記載されている以外の方法で使用されますと安全が保証できず、更に故障のおそれがあります。この取扱説明書に従ってご使用ください。

本文内の注意文章には、次のシンボルマークを使用しています。

- ▲ : 使用者の傷害防止および商品(周辺の家財など含む)破損防止の注意内容を示します。
- ★ : 商品破損防止の注意内容を示します。
- ◎ : 参考(操作・保守において知っておくと便利な内容)

1 構成モジュールの名称

□内モジュールが248nm紫外線顕微鏡ユニットU-UVF248です。

その他の必要モジュールは、お客様の方でご準備ください。

◎組立てが完了していない場合は、「7 組立て方」(P.13~P.16)を先に、ご覧ください。

紫外線観察用テレビカメラ/モニタ

推奨テレビカメラ：SONY 製 XCD-SX910UV

画像計測ソフトウェア
analySIS FIVE

UV248 鏡筒
U-UVF248IM

水銀キセノンランプハウス
U-LH80HGXE

水銀キセノンランプ
UXM80E

アクティブAFユニット

落射投光管
BX-RLA2
BX-RLAA
BX-URA2

紫外線用
対物レンズ
248nm用MApo100×

可視光用対物レンズ
UIS2 (UIS) シリーズ

鏡体
BX51/61
MX51/61

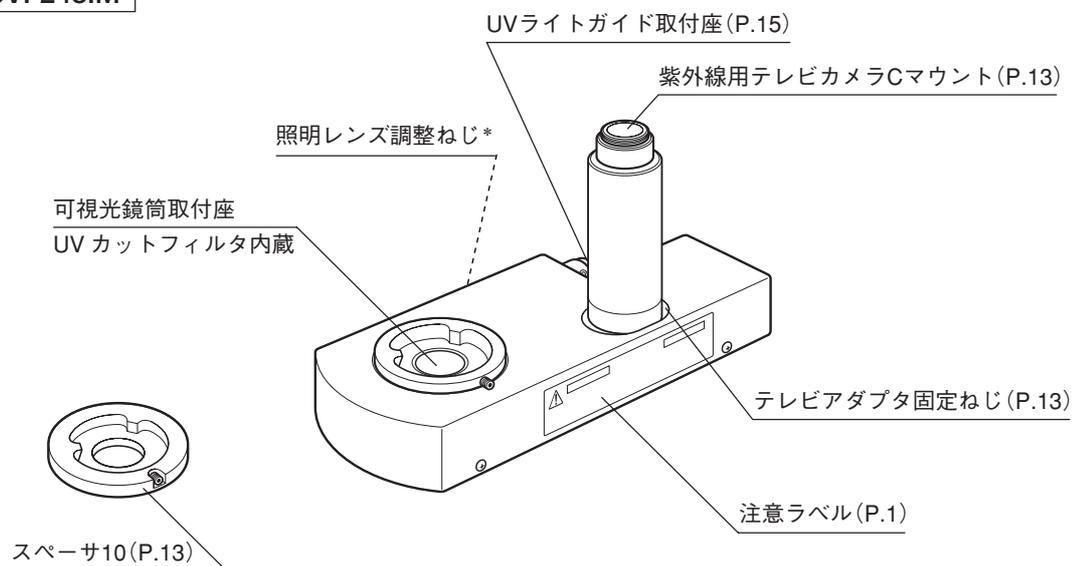
UV ライトガイド
U-UVF2FB/
U-UVF5FB

UV248 光源ボックス
U-UVF248LB

水銀キセノン電源装置
(ウシオ電機製)

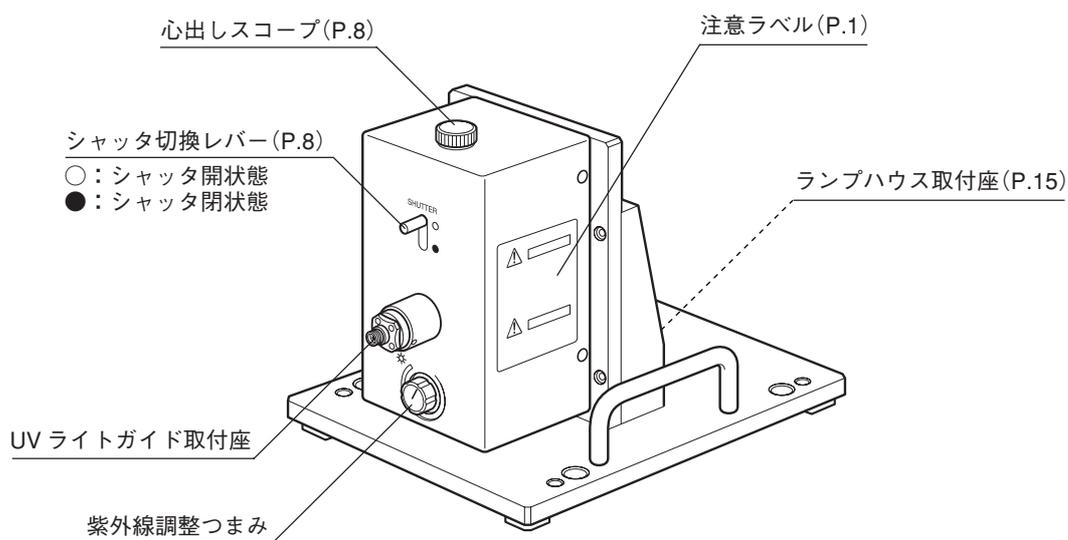
2 各操作部の名称

UV248 鏡筒 U-UVF248IM

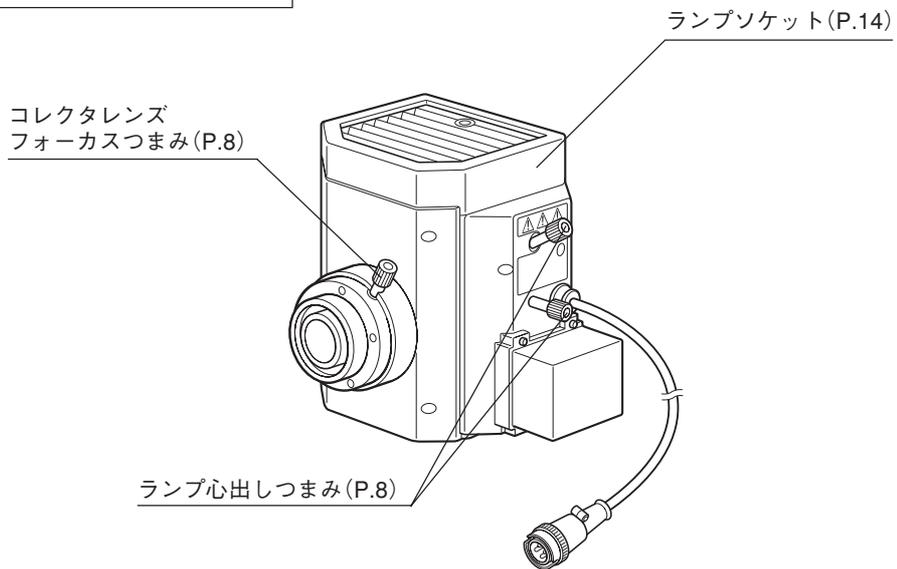


* 照明レンズ調整ねじは、出荷時設定 (UVライトガイド取付座側) のままでご使用ください。
特殊用途時のみに調整します。

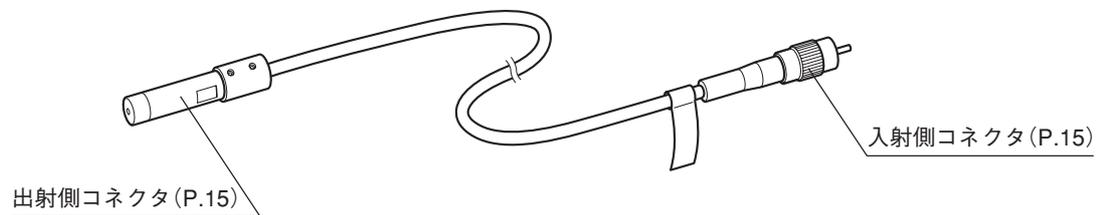
UV248 光源ボックス U-UVF248LB



水銀キセノンランプハウス
U-LH80HGXE

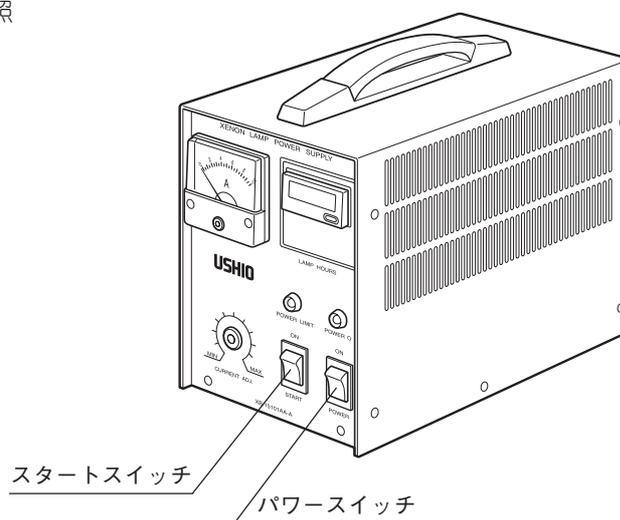


UV ライトガイド
U-UVF2FB/UVF5FB



水銀キセノン電源装置
(ウシオ電機製)

◎別冊取扱説明書をご参照
ください。



3 観察前の準備

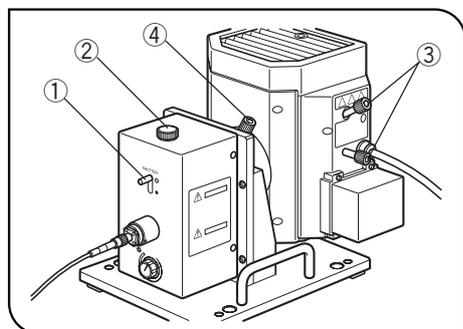


図 1

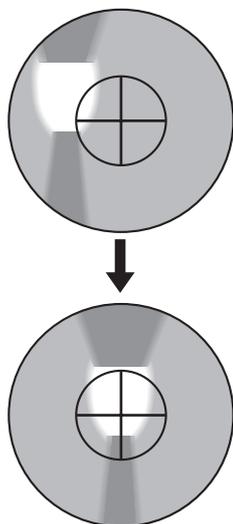


図 2

1 水銀キセノンランプの心出し (図1,2)

- 1) 紫外線の不用意な出射を防止するため、光源ボックスのシャッタ切替レバー①を下側(●印側)に下げます。
- 2) 電源装置の電源を入れ(パワースイッチ→スタートスイッチの順)、ランプを点灯させます。アーク像が安定するまで5~10分待ちます。
- 3) 心出しスコープのキャップ②を反時計方向に回して外します。
- 4) 紫外線カット心出しスコープを見ながら、次の操作部位を回して、心出しスコープのクロス中心にランプ像の焦点の合った最も明るい部分がくるように調整します。
 - ・ランプ心出しつまみ③
 - ・コレクタレンズフォーカスつまみ④
- 5) 紫外線観察用モニタ上で、観察像が最も明るくなるように最終調整をします。
- 6) キャップ②を元の位置にねじ込みます。
 - ◎長時間使用すると電極が消耗し、心出し位置がズれてきますので、定期的な心出し調整を行ってください。

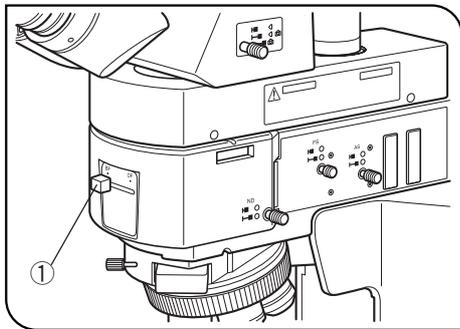


図 3

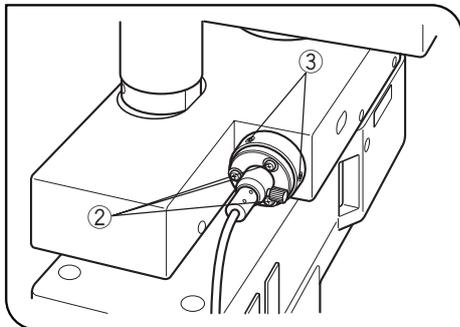


図 4

2 照明心調整

(図3,4)

◎UVライトガイドと248nm用MApo100×対物レンズの中心を合わせる調整操作です。

- 1) 落射投光管の切換レバー①を「BF」位置にします。
- 2) 鏡面状の標本をステージ上にセットします。
- 3) 可視光対物レンズを光路に入れて、低倍から順に高倍までピント合わせを行います。
- 4) 落射投光管の切換レバー①を「DF」位置にして、紫外線観察に切換えます。
- 5) 対物レンズ248nmMApo100×を光路に入れます。
- 6) 光源ボックスシャッタ切換レバー(図1、①)を上側(○印側)に上げ、シャッタを開きます。
- 7) 紫外線観察用モニタ上で、ピント合わせを行います。この時、観察像が得られないかまたは、異常に暗い場合は照明心がズレていますので、ライトガイド取付座の調整を行います。
- 8) UVライトガイド取付座の固定ねじ②(3ヶ)をプラスドライバーで少しゆるめます。
- 9) 付属の六角ドライバーで調整ねじ③(2ヶ)に交互に六角ドライバーを入れて回して、観察像が最も明るくなるように調整します。
- 10) 調整が終わりましたら、固定ねじ②(3ヶ)を確実に締付けます。

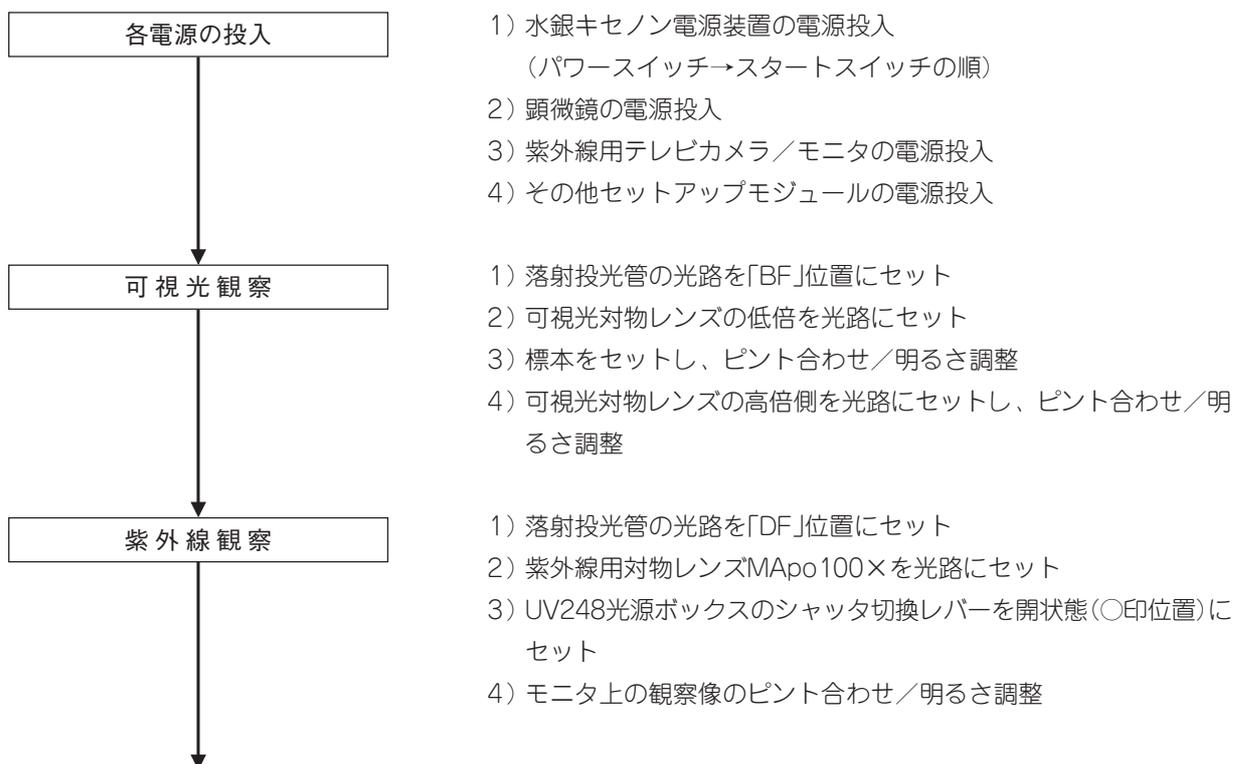
◎この照明心の調整は、UVライトガイド交換まで必要ありませんが、組合わせ顕微鏡の変更やAFユニットの追加の場合は、調整が必要です。

UVライトガイドは消耗品ですので、照明心調整しても明るくならないまで劣化したら交換してください。

4 可視光／紫外線観察手順

◎電源を投入する前に、UV248光源ボックスのシャッタ切換レバーを閉状態(●印位置)にします。

(操 作 内 容)



- 1) 水銀キセノン電源装置の電源投入
(パワースイッチ→スタートスイッチの順)
- 2) 顕微鏡の電源投入
- 3) 紫外線用テレビカメラ／モニタの電源投入
- 4) その他セットアップモジュールの電源投入

- 1) 落射投光管の光路を「BF」位置にセット
- 2) 可視光対物レンズの低倍を光路にセット
- 3) 標本をセットし、ピント合わせ／明るさ調整
- 4) 可視光対物レンズの高倍側を光路にセットし、ピント合わせ／明るさ調整

- 1) 落射投光管の光路を「DF」位置にセット
- 2) 紫外線用対物レンズMApo100×を光路にセット
- 3) UV248光源ボックスのシャッタ切換レバーを開状態(○印位置)にセット
- 4) モニタ上の観察像のピント合わせ／明るさ調整

5 仕様

■UV248 鏡筒U-UVF248IM

項目	仕様	
	可視光光路	紫外線光路
鏡筒倍率	1×(UVカットフィルタ内蔵)	2.5×
視野数	FN22 (ただし、カメラ観察時はFN20)	FN12.5 (実視野50μm)
使用光波長	可視光	248±4nm
適合対物レンズ	UIS2(UIS)シリーズ	248nm用MApo100×のみ
適合光源ランプ	鏡体適合品	80W水銀キセノンランプ
適合テレビカメラ	テレビシステム適合品	Cマウント/CCDサイズ2/3インチ以下 (推奨品) SONY製XCD-SX910UV CCDサイズ: 1/2インチ
寸法・質量	108(W)×157.5(H)×259(D)mm・約1.9kg	

■UV248 光源ボックスU-UVF248LB

項目	仕様
適合光源	ランプハウスU-LH80HGXE 水銀キセノンランプUXM80E(寿命:約1000時間) 電源装置(ウシオ電機製)
使用光波長	248±4nm
明るさ調整	0~100%手動無段階調整
シャッター	上下スライド式切換レバー
寸法・質量	170(W)×170(H)×240(D)mm・約3.4kg

■UVライトガイド U-UVF2FB/U-UVF5FB

項目	仕様
使用可能波長域	210nm~800nm
ファイバ径	500μm
長さ・質量	U-UVF2FB: 2m・約40g/U-UVF5FB: 5m・約70g

6 紫外線観察の問題点とその処置

問題が発生した場合は、以下を参照されて適切な処置を行ってください。

現象が改善されない場合は、お求めの販売店へご連絡ください。

現 象	原 因	処 置	参照頁
モニタ上の紫外線観察像が見えない、または暗い。	各ケーブル類の接続が不確実か電源が入っていない。	すべての結線を確認し、電源を入れてください。	16
	水銀キセノンランプがランプハウスに取付けられていない。	水銀キセノンランプUXM80Eを取付けてください。	14
	水銀キセノンランプが点灯して間もない。	アーク像が安定するまで約5~10分待ってください。	8
	光源ボックスのシャッタが閉状態(●印位置)にある。	シャッタ切換レバーを上側に上げて開状態(○印位置)にしてください。	9
	落射投光管の光路が「DF」以外になっている。	「DF」光路にセットしてください。	9
	紫外線用対物レンズが光路に入っていない。	248nm用MApo100×を光路に入れてください。	—
	水銀キセノンランプの心出しが不十分である。	心出しを正しく行ってください。	8
	照明心がズレている。	照明心調整を行ってください。	9
	照明レンズ調整ねじ位置が動いている。	指定位置に戻してください。	6
	紫外線調整つまみがMIN側になっている。	観察像を見ながら、MAX側に回して調整してください。	6
	水銀キセノンランプが切れているか寿命に達しつつある。	指定のランプに交換してください。	14

7 組立て方

★取付ける際には、顕微鏡側に取付いているモジュールによっては、一度取外してから行う必要があります。
取外し・取付けに際しては慎重な取扱いを行い、各取付部のゴミ・ホコリを取除きキズをつけないようご注意ください。

1 落射投光管の取付け

適合落射投光管を適合鏡体に取り付けてください。

◎各取扱説明書をご参照ください。

2 UV248鏡筒の取付け

(図 5)

- 1) 落射投光管の鏡筒固定ねじ①を六角ドライバでゆるめ、UV248鏡筒②下面の丸アリを挿入し、固定ねじ①を締付けます。取付方向は、落射投光管の向きに合わせてください。

アクティブAFユニット併用の場合

- ・落射投光管の上にAFユニットを取付けます。
- ・AFユニットの型式名によっては、UV248鏡筒に付属のスペーサ10をAFユニットに取り付ける必要があります。

- 2) テレビアダプタ固定ねじ③を六角ドライバでゆるめ、テレビアダプタ④を挿入し、固定ねじ③を締付けます。
- 3) テレビアダプタのCマウントに紫外線用テレビカメラをねじ込みます。
- 4) 鏡筒取付座⑤には可視光観察用鏡筒を取付けてください。
テレビアダプタを使用する場合は、三眼鏡筒を使用し、直筒部にテレビアダプタを取付けてください。

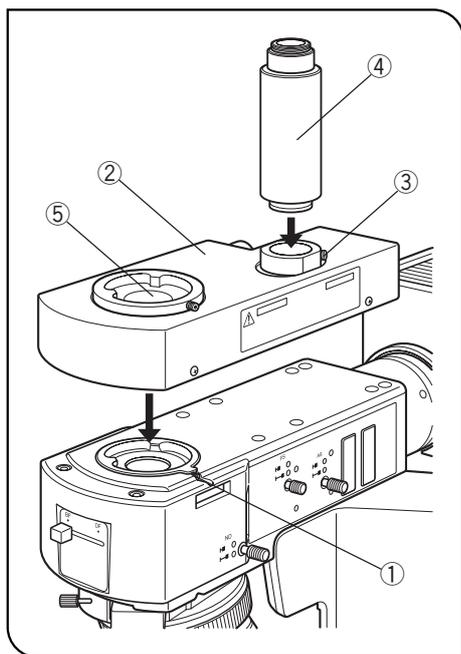


図 5

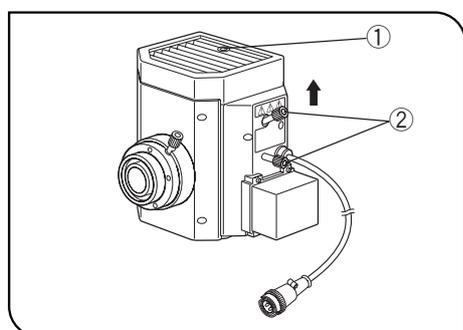


図 6

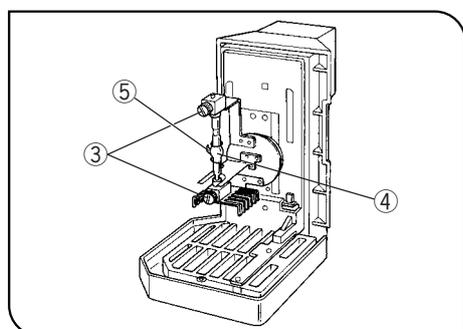


図 7

3 UV248光源ボックスの組立て

(図6,7)

水銀キセノンランプの取付け(図6,7)

▲点灯後のランプおよびその周辺は非常に熱くなっており、火傷のおそれがあります。消灯後充分冷えたことを確認の上、ランプ交換をしてください。

▲点灯後すぐにランプ端子に触れると、イグニッション時の電圧が残り、感電のおそれがあります。

ランプハウスを開ける前にパワースイッチを○(OFF)にし、10分以上経過したことを確認してください。

- 1) 六角ドライバで、ソケット固定ねじ①をゆるめます。
- 2) ランプハウス上部を持ち、上方へ垂直に引っ張りソケット部を外します。

★心出しつまみ②を持つと故障の原因となります。

- 3) ソケット部を図7のように逆さまに置きます。

◎出荷時には、輸送用保持具が、ランプ交換時には古いランプが取付いていますので、ランプ固定ねじ③(2ヶ)をゆるめて取外します。

- 4) ランプ④の一極を上にして、一極をねじ③で締付けます。次に十極側の取付穴にランプの十極側を入れ、ねじ③で確実に締付けます。

▲ランプは必ずオリンパス供給のUXM80E(ウシオ電機製)を使用してください。

▲ランプに指紋、汚れが付着しないようご注意ください。汚れによるガラスの歪みで、破裂の可能性があります。汚れた場合は、無水アルコールをガーゼに含ませてランプ表面をきれいに拭いてください。

★ランプ④の管球部の突起⑤が光路に入らないよう、ランプ取付側に向けて取付けてください。

- 5) ランプの取付いたソケット部を元に戻し、固定ねじ①を締付けます。

★ランプハウスの外観面とソケット部の外観面を合わせて、垂直に下ろします。

▲UV248光源ボックスに取付ける前に、ランプを点灯させると紫外線で目を痛めます。

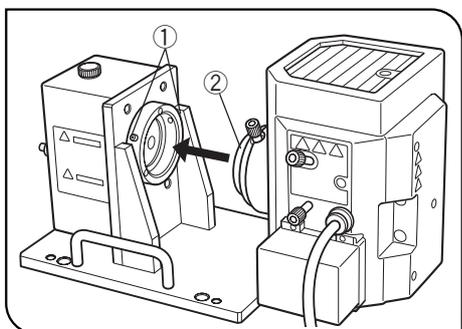


図 8

ランプハウスの取付け(図8)

- 1) UV248光源ボックスのランプハウス固定ねじ①(2ヶ所)をゆるめます。
- 2) ランプハウスの取付部②を取付座に挿入し、固定ねじ①を締付けます。

▲ランプハウスは、図のように取付け、傾けないでください。
またランプハウス周辺には、放熱のため十分な空間を確保してください。

ライフメータの設定

電源装置に付属の取扱説明書を参照されて、ライフメータの設定を行ってください。

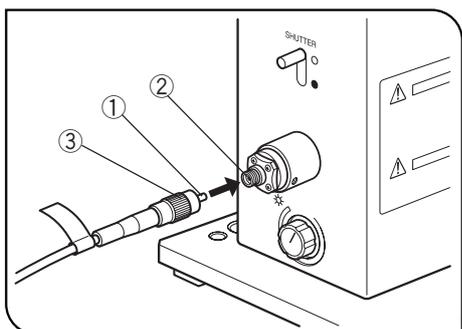


図 9

4 UVライトガイドの取付け (図9,10)

▲ライトガイドは折れを防止するため、曲げ半径100mm以下にしないでください。
また、ライトガイドに重いものを乗せたり、無理な力をかけたりしないでください。

- 1) ライトガイド両端の保護ゴムキャップを取外します。
ライトガイド端面に汚れ・キズをつけないよう慎重に取扱ってください。
- 2) 入力側コネクタ①をUV248光源ボックスのUVライトガイド取付座②の位置決めを合わせて挿入し、固定リング③をねじ込みます。
- 3) 固定つまみ④をゆるめ、出力側コネクタ⑤を突当てまで確実に挿入します。この時、位置決めのための基準面⑥が固定つまみ④と合致するようにして締付けてください。

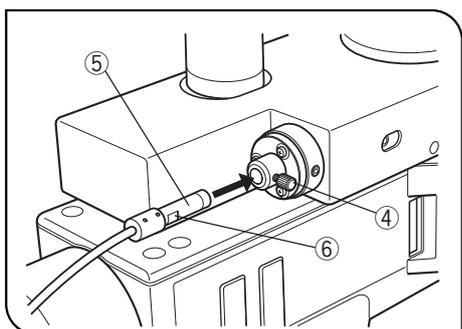


図 10

5 248nm用MApo100Xの取付け

UIS2 (UIS) シリーズ対物レンズと同様にレボルバに取付けてください。

▲レボルバの対物レンズの取付いていない穴には、レボルバ付属のキャップを取付け不用意に紫外線が出射されるのを防止してください。

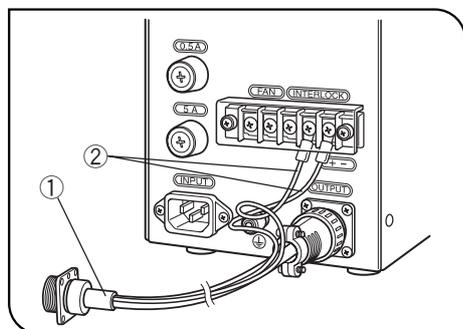


図 11

6 水銀キセノン電源装置の結線 (図 11)

◎ 基本的な結線は電源装置に付属の取扱説明書をご参照ください。
ここでは、本ユニットと組合わせて使用する設定と変換ケーブルの取付け方を説明します。

- 1) 75W/150W切替スイッチは150W側にしてください。
- 2) 出力設定は出荷時設定のままで使用してください。
- 3) ランプハウスのコネクタは変換ケーブル①を介して取付けてください。

インターロックケーブル②は、図11位置にセットしてください。

- ・ 赤ケーブル→インターロック⊕へ
- ・ 青ケーブル→インターロック⊖へ

7 その他ケーブルの結線

- 1) 各モジュールにメインスイッチのあるものは、●(OFF)位置にしてください。
- 2) 安全のため電源コードプラグは最後に取付けてください。
- 3) 各ケーブル類を確実に接続してください。

OLYMPUS®

オリンパス株式会社

支店・営業所所在地

東京 〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス ☎03(6901)4031
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-25 日本生命広小路ビル ☎052(201)9577
大阪 〒542-0081 大阪市中央区南船場2-12-26 オリンパス大阪センター ☎06(6252)6694
福岡 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通り3-6-11 福岡フコク生命ビル ☎092(711)1883



Olympus Customer Information Center Microscope

顕微鏡お客様相談センター

☎0120-58-0414 FAX 03(6901)4251

携帯・自動車電話・PHSからご利用になれます。

取扱販売店名

住所	
店名	
担当者	